
令和7年度東京都中体連柔道競技部大会組み合わせ実施規程

総合体育大会（東京都中学校体重別柔道選手権大会）[男子個人]

1-1 大会の位置づけ

- (1) 全国・関東大会における都代表選手の選出。
- (2) 各階級上位8名（1，2年のみ）を強化選手に推薦する。

1-2 参加数

各階級48名 + 島嶼地区

南ブロック	北ブロック	東ブロック	多摩ブロック	島嶼	計
12	12	12	12	α	48

1-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	ブロック大会第1位	4名
第2	ブロック大会第2位	4名
第3	ブロック大会第3位	8名

※前年度、新人大会の結果を考慮する。

1-4 組み合わせの方法

- (1) 全4ブロックを抽選により、a～dに振り分ける。
- (2) 各ブロック1位・2位の2名を所定の位置に入れる。
『a1、a2、b1、b2、c1、c2、d1、d2』が決定。
- (3) ベスト4（3位）の2名の抽選
『a3～d3、a4～d4』が決定。
- (4) ベスト8（5位）の4名の抽選
『a5～d5、a6～d6、a7～d7、a8～d8』が決定。
- (5) ベスト8より下位の4名の抽選
『a9～d9、a10～d10、a11～d11、a12～d12』が決定。

1-5 順位決定戦

準決勝の敗者2名による『関東大会第3代表決定戦』を行う。

1-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。

（ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする）

総合体育大会（東京都中学校体重別女子柔道選手権大会）〔女子個人〕

2-1 大会の位置づけ

- (1) 全国・関東大会における都代表選手の選出。
- (2) 各階級上位8名（1，2年のみ）を原則として強化選手に推薦する。

2-2 参加数

ブロックごとの出場数の制限を設けないが、ブロック大会に出場した選手に参加資格が与えられる。

2-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	ブロック大会第1位	4名
第2	ブロック大会第2位	4名
第3	ブロック大会第3位	8名

※前年度、新人大会の結果を考慮する。

2-4 組み合わせの方法

- (1) 全4ブロックを抽選により、a～dに振り分ける。
- (2) 各ブロック1位・2位の2名を所定の位置に入れる。
『a1、a2、b1、b2、c1、c2、d1、d2』が決定。
- (3) ベスト4（3位）の2名の抽選
『a3～d3、a4～d4』が決定。
- (4) ベスト8（5位）の4名の抽選
『a5～d5、a6～d6、a7～d7、a8～d8』が決定。
- (5) ベスト8より下位の抽選
ブロックが均等になるように配置し、原則同一ブロックの選手が2回戦までは対戦しないように配置する。

2-5 順位決定戦

準決勝の敗者2名による『関東大会補欠選手決定戦』を行う。

2-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。
(ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする)

総合体育大会（東京都中学校対抗柔道大会）[男子団体]

3-1 大会の位置づけ

全国・関東大会における東京都代表チームの選出

3-2 参加数

ブロックごとの出場数の制限を設けないが、ブロック大会に出場したチームに参加資格が与えられる。ただし、第1～第4シードは、推薦チームとし、ブロック予選免除とする。

3-3 シード基準

優先順位	シード基準
第1	前年度新人大会 優勝チーム
第2	前年度新人大会準優勝チーム
第3	前年度新人大会第3位チーム
第4	前年度新人大会第4位チーム
第5	各ブロック順位付け予選1位
第6	各ブロック順位付け予選2位
第7	各ブロック順位付け予選3位

☆推薦チームが不参加の場合は、順次シードを繰り上げていく。その際、同率シードがいた場合は、抽選をおこない繰り上げチームを決定する。

☆ブロックが均等になるように配置し、原則同一ブロックのチームが2回戦までは対戦しないように配置する。ただし、シードチームにおける同一ブロックのチームのヤマの偏りは考慮しない。

3-4 組合せの方法

- (1) 第1シードから第6シードまでを所定の位置に入れる。複数チームのシード内では抽選を行う。第1シードから第6シードが決定。
- (2) 全4ブロックを抽選により、a～dに振り分ける。
- (3) 各ブロック1位・2位（第7・8シード）の2チームを所定の位置に入れる。
- (4) ベスト4（第9シード）の2チームの抽選
- (5) ベスト8以下のチームの抽選

3-5 順位決定戦

ベスト8のチームを対象に、ダブルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。

また、第3位の2チームによる『関東大会代表順位決定戦』を行う。

但し、本戦トーナメントで対戦済みの場合は再戦を行わず、本戦トーナメントでの勝者を第3代表とする。

3-6 表彰

順位決定戦の結果通り。

優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位（2チーム）第7位（2チーム）の8チームを表彰する。

総合体育大会（東京都中学校対抗女子柔道大会）[女子団体]

4-1 大会の位置づけ

全国・関東大会における東京都代表チームの選出

4-2 参加数

ブロックごとの出場数の制限を設けないが、ブロック大会に出場したチームに参加資格が与えられる。ただし、第1～第4シードは、推薦チームとし、ブロック予選免除とする。

4-3 シード基準

優先順位	シード基準
第1	前年度新人大会 優勝チーム
第2	前年度新人大会準優勝チーム
第3	前年度新人大会第3位チーム
第4	前年度新人大会第4位チーム
第5	各ブロック順位付け予選1位
第6	各ブロック順位付け予選2位
第7	各ブロック順位付け予選3位

☆推薦チームが不参加の場合は、順次シードを繰り上げていく。その際、同率シードがいた場合は、抽選をおこない繰り上げチームを決定する。

☆ブロックが均等になるように配置し、原則同一ブロックのチームが2回戦までは対戦しないように配置する。ただし、シードチームにおける同一ブロックのチームのヤマの偏りは考慮しない。

4-4 組合せの方法

- (1) 第1シードから第6シードまでを所定の位置に入れる。複数チームのシード内では抽選を行う。第1シードから第6シードが決定。
- (2) 全4ブロックを抽選により、a～dに振り分ける。
- (3) 各ブロック1位・2位（第7・8シード）の2チームを所定の位置に入れる。
- (4) ベスト4（第9シード）の2チームの抽選
- (5) ベスト8以下のチームの抽選

4-5 順位決定戦

ベスト8のチームを対象に、シングルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。勝ち上がった2チームによる「関東大会第3代表決定戦」を行う。

4-6 表彰

順位決定戦の結果通り。

優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位（4チーム）の8チームを表彰する。

東京都中学校新人柔道大会 [男子団体戦]

5-1 大会の位置づけ

上位4チームを次年度の対抗大会推薦チームとする。

5-2 参加数

ブロックごとの出場数の制限を設けませんが、ブロック大会に出場したチームに参加資格が与えられる。

5-3 シード基準

シード順	対象チーム	チーム数
第1	ブロック大会第1位チーム	4チーム
第2	ブロック大会第2位チーム	4チーム
第3	ブロック大会第3位チーム(2チーム)	8チーム

☆第1～3シードまで不在のチームがあるブロックは、他のブロックの成績上位の中から、ブロックの偏りを考慮し、抽選を行う。

5-4 組合せの方法

- (1) 全4ブロックを抽選により、a～dに振り分ける。
- (2) 各ブロック1位・2位の2名を所定の位置に入れる。
『a1、a2、b1、b2、c1、c2、d1、d2』が決定。
- (3) ベスト4(3位)の2名の抽選
『a3～d3、a4～d4』が決定。
- (4) ベスト8(5位)の4名の抽選
『a5～d5、a6～d6、a7～d7、a8～d8』が決定。
- (5) ベスト8より下位の4名の抽選
『a9～d9、a10～d10、a11～d11、a12～d12』が決定。

5-5 順位決定戦

ベスト8のチームを対象に、ダブルレペチャー方式の順位決定戦を行う。
但し、本戦トーナメントで対戦済みの場合は再戦を行わず、本戦トーナメントでの勝者を勝ちとする。

5-6 表彰

順位決定戦の結果通り。
優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位(2チーム)第7位(2チーム)の8チームを表彰する。

東京都中学校新人女子柔道大会 [女子団体戦]

6-1 大会の位置づけ

上位4チームを次年度の対抗大会推薦チームとする。

6-2 参加数

ブロックごとの出場数の制限を設けませんが、ブロック大会に出場したチームに参加資格が与えられる。

6-3 シード基準

シード順	対象チーム	チーム数
第1	ブロック大会第1位チーム	4チーム
第2	ブロック大会第2位チーム	4チーム
第3	ブロック大会第3位チーム(2チーム)	8チーム

☆第1～3シードまで不在のチームがあるブロックは、他のブロックの成績上位の中から、ブロックの偏りを考慮し、抽選を行う。

6-4 組合せの方法

- (1) 全4ブロックを抽選により、a～dに振り分ける。
- (2) 各ブロック1位・2位の2名を所定の位置に入れる。
『a1、a2、b1、b2、c1、c2、d1、d2』が決定。
- (3) ベスト4(3位)の2名の抽選
『a3～d3、a4～d4』が決定。
- (4) ベスト8(5位)の4名の抽選
『a5～d5、a6～d6、a7～d7、a8～d8』が決定。
- (5) ベスト8より下位の4名の抽選
『a9～d9、a10～d10、a11～d11、a12～d12』が決定。

6-5 順位決定戦

ベスト8のチームを対象に、ダブルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。
3位決定戦は実施しない。勝ち上がった2チームを3位とする。

6-6 表彰

順位決定戦の結果通り。
優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位(2チーム)第7位(2チーム)の8チームを表彰する。

東京都中学校新人体重別選手権大会 [男子個人]

7-1 大会の位置づけ

- (1) 各階級上位4名を原則として強化選手に推薦する。
- (2) 入賞者は次年度、総体のシード参考資料とする。

7-2 参加数

各階級48名 + 島嶼地区

南ブロック	北ブロック	東ブロック	多摩ブロック	島嶼	計
12	12	12	12	α	48

7-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	ブロック大会第1位	4名
第2	ブロック大会第2位	4名
第3	ブロック大会第3位	8名

※同年度、総体の結果を考慮する。

7-4 組み合わせの方法

- (1) 全4ブロックを抽選により、a~dに振り分ける。
- (2) 各ブロック1位・2位の2名を所定の位置に入れる。
『a1、a2、b1、b2、c1、c2、d1、d2』が決定。
- (3) ベスト4（3位）の2名の抽選
『a3~d3、a4~d4』が決定。
- (4) ベスト8（5位）の4名の抽選
『a5~d5、a6~d6、a7~d7、a8~d8』が決定。
- (5) ベスト8より下位の4名の抽選
『a9~d9、a10~d10、a11~d11、a12~d12』が決定。

7-5 順位決定戦

実施しない。

7-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。

(ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする)

東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会 [女子個人]

8-1 大会の位置づけ

- (1) 各階級上位4名を原則として強化選手に推薦する。
- (2) 入賞者は次年度、総体のシード参考資料とする。

8-2 参加数

ブロックごとの出場数の制限を設けないが、ブロック大会に出場したチームに参加資格が与えられる。

8-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	ブロック大会第1位	4名
第2	ブロック大会第2位	4名
第3	ブロック大会第3位	8名

※同年度、総体の結果を考慮する。

8-4 組合せの方法

- (1) 全4ブロックを抽選により、a~dに振り分ける。
- (2) 各ブロック1位・2位の2名を所定の位置に入れる。
『a1、a2、b1、b2、c1、c2、d1、d2』が決定。
- (3) ベスト4（3位）の2名の抽選
『a3~d3、a4~d4』が決定。
- (4) ベスト8（5位）の4名の抽選
『a5~d5、a6~d6、a7~d7、a8~d8』が決定。
- (5) ベスト8より下位の抽選
ブロックが均等になるように配置し、原則同一ブロックの選手が2回戦までは対戦しないように配置する。

8-5 順位決定戦

実施しない。

8-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。

(ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする)